

### 音楽のまちづくりの取り組みと成果について

清水 義朋 議員

質問 本年3月に第4回「児童・生徒による音楽のまちづくりコンサート」が開催されたが、音楽のまちづくりのこれまでの取り組みと成果について伺いたい。

教育長 市内の各学校は、福生市の表彰式や諸行事で演奏活動を行うなど、地域活動に積極的に貢献している。また、市内の中学校が東京都や東日本のコンクールで金賞を獲得

するなどの成果も上げている。



▲児童・生徒による音楽のまちづくりコンサート

## 一般質問 (要旨)

### 市政のここが聞きたい

今定例会では、18人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式（一括と一問一答の併用）のいずれかを議員が選択し、質問しました。

概略の掲載は一問とし4ページから5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載してあります。

詳しくは、11月中旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市ホームページからご覧ください。

### 犯罪行為である落書きが増えている現状を憂える

岩崎 百合子 議員

質問 市内に落書きが増え、まちの美観を台なしにしている現状をどう考えるか。

市長 落書きは、犯罪行為であり、まちの美観を損ね、市民や訪れる方々に不快な思いをさせる。市は落書き防止の啓発活動を行っており、また、福生警察署はパトロール等の予防を行い、警告看板を被害の多い地域から順次設置している。



▲落書き防止の啓発看板

### 小中学校の通学路の現状と今後の安全性について

町田 成司 議員

質問 第二小学校区域の通学路は、えるなど対策を計画的に進めていく。道路の幅が狭く危険だと思うが、平成24年度の通学路安全点検で改善要望の状況と今後の対策は。

都市建設部長 第二小学校区域は、道幅が狭くてもスピードを出す車両が多く、十分な安全対策が必要だ。二小区域の改善要望は、23カ所で全体の34%を占めており今後、旧基準のガードレールをガードパイプに換



▲安全対策の要望が多い二小通り

### 学校体育館等の非構造部材耐震化は進んだか

五十嵐 みさ 議員

質問 東日本大震災を受け、小・中学校施設の天井材、照明器具、内外装材等の非構造部材耐震化を緊急要望した。市はどう取り組んだか。

教育長 市内小中学校の非構造部材の調査委託を予算化している。建築基準法施行令の改正や文部科学省の手引きが示されたので早急に調査を開始し、26年2月を目途に結果を取りまとめ、住民の避難所としての

役割も考え迅速に対策を検討したい。



▲災害時の避難所としての役割も重要な市内小学校

### 中学校給食を検討するにあたってのポイントは

末次 和夫 議員

質問 中学校給食の実施の採否を検討する際の判断基準となるポイントをどのように考えているか。

教育長 ランチルームの複数メニューの選択制による生徒の嗜好性の状況や、弁当併用ランチルーム方式による各生徒の昼食の喫食状況などの検証を行うことや、中学校給食の実施による社交性や協働の精神の涵養、健全な食生活や健康の保持増

進等の効用等がポイントとなる。



### 市の結んだ地域包括連携協定の中身を伺う

田村 正秋 議員

質問 コンビニエンスストアと結んだ協定はどんな内容を持つのか。

市長 高齢社会を背景とした地域密着サービスの実施は、自治体、コンビニエンス業界双方にメリットがある。今回の協定は、開発商品が市のお土産ブランドに認定されたことをきっかけに、まず観光振興の分野で締結した。各店舗に市の観光コーナーを設け、名産品の開発や販売、

観光情報発信から始めている。



▲地域包括協定の締結式

### いじめの未然防止、早期発見について

武藤 政義 議員

質問 市内各校のいじめ撲滅実行計画が公表されているが、いじめの未然防止、早期発見についての具体的な対応策について伺いたい。

教育長 職員が休み時間等に各学年のフロアで、児童・生徒と語り合い触れ合う場を意図的に作り出すなど、教職員が連携して子どもとかわる機会を増やし、得た情報を共有することで、いじめの未然防止、

早期発見につなげている。



### 福生駅西口のまちづくりをどう進めるのか

大野 聡 議員

質問 福生市の表玄関である駅西口周辺の開発整備について、市長はどのように取り組んでいくのか。

市長 平成24年に都市計画マスタープランを改定し、西口は中心拠点として高度利用を図り、複合的土地利用、空間形成を目指すとした。民有地内の整備には地権者、地元住民の主体的推進が必要であり、市は住民説明会の開催、周辺道路や広場

の整備など積極的に取り組んでいく。



▲福生駅西口駅前の様子

### 今後の在宅医療・介護・療養等の重要性について

柳川 英司 議員

質問 少子高齢化が進み、医療資源も限られる中、今後の福生市の医療体制として、在宅医療・介護・療養等の重要性について伺いたい。

市長 社会保障制度国民会議の報告書は、医療の機能分化、病院・施設から地域・在宅へという流れの構築が重要だと述べている。国の社会保障もこの流れで進むと思われ、福生市の在宅医療・在宅療養の重要性

も一層増加すると考える。

